

平成 31 年 4 月 3 日
東京都ミニバスケットボール連盟
松浦 拓未

平成 30 年度 全国ミニバスケットボール大会 派遣報告書

大会名	第 50 回 全国ミニバスケットボール大会
期間	平成 31 年 3 月 27 日 (水) ~3 月 30 日 (土)
会場	群馬県 高崎アリーナ
講師	渡邊 諭 氏 古畑 香子 氏 漆間 大吾 氏

日程	時間	スケジュール
3 月 27 日 (水)	17 : 50	インテグリティ説明会
	18 : 30	審判会議
3 月 28 日 (木)	8 : 30	審判受付
	8 : 45	開講式
	8 : 50	座学研修 講義『2PO メカニクス』 漆間 大吾 氏
	10 : 30	競技開始
	17 : 00	競技終了
3 月 29 日 (金)	7 : 45	審判受付
	9 : 00	競技開始
	17 : 00	競技終了
	17 : 00	映像研修 渡邊 諭 氏
	18 : 00	閉講式
3 月 30 日 (土)	7 : 45	審判受付
	9 : 00	競技開始
	17 : 00	競技終了
	18 : 00	閉講式

講義 漆間 大吾 氏

「2PO メカニクス」

初日の講義では今大会での約束やレフリーとしての姿勢、2PO におけるメカニクスの確認など様々な競技のレフリーの映像を交えながら、講義が行われた。

【約束】

- ・PROACTIVE 積極性
- ・NO EXCUSE 言い訳をしない
- ・TELL IT LIKE IT IS 思ったことを伝える
- ・RESPECT EACH OTHER 尊敬しあう

【レフリーとして】

- ・WE WILL NEVER STOP EVOLVING 進化を止めない
→変化に気付き進化する
- ・DON'T BREAK
→RULES, INTERPRETATIONS, GUIDELINE, MECHANICS
- ・TRUST YOUR PARTNER パートナーを信用する
- ・ACTIVE MINDSET 立て直し、切り替える
- ・STRONG 強さ
- ・DECISIVE 決断力
- ・APPROACHABLE 親しみやすさ

【メカニクス】

- ・BASIC CONCEPT
=CREATE OPEN ANGLE
- ・足をはこんで、良いアングルを捉える。
- ・目的をもって、良いアングルを探す
→合理的理由をもつ
- ・エリア 3 でのトラップについて
→トレイルはエリア 2 まで見に行く（ミッドラインは越えない）
→リードはフロアバランスを見て広がる（サイドラインの確認）、アクティブなマッチアップに合わせて変えていく
- ・リードがエリア 6 に見に行くこと
→合理的理由があれば良い、リスクがあることも理解する
→プレゲームカンファレンスにおいてリードが右にきたときはトレイルはどのように動くか確認をする（レベルを上げる等）
- ・エリア 6 からリードはいつ戻るか
→リバウンドに注意し、エリア 4 で OF リバウンドがあったときには、すぐにショットの可能性があるので、戻らずに見ることも大切

担当試合①			
カード	CC/U	パートナー	主任
【男子】 北海道 - 熊本	U	CC : 大西 英一郎氏 (愛媛)	小林 亘 氏 (新潟) 古畑 香子 氏 (日本協会)
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・2人の協力としてお互いのエリアをとらえ、判定の基準も一致していた。 ・リード時、エリア3と4の境目から始まるストロングサイドへのドライブが行われた際に、細かく動くことができず、ブラインドになることが多かった。DFの状態によってボールラインより少し内側に動いて、ドライブへの準備をする必要があった。 ・2POでは見づらいプレイが多くあるので、プレゲームカンファレンスにおいて、様々なケースでの見方の話し合いをもっと細かくしておく必要があった。 			
担当試合②			
カード	CC/U	パートナー	主任
【男子】 愛媛 - 福島	U	CC : 田中 慎也 氏 (福岡)	坂井 佑季子 氏 (本部)
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドチェックの判定出来なかった。両チームともアイソレーションの1対1中心のチームであったが、シリンドーからでた手をもっと鳴らして必要があった。 ・リード時、プレイを近くで見えてしまうことが多く、ドライブへの判定がしづらくなってしまった。決着の場所を決めつけしないで、プレイに合わせて、適切な距離やアングルを考えて動くことが必要だった。 			
担当試合③			
カード	CC/U	パートナー	主任
【女子】 広島 - 京都	U	CC : 宇田川 晶彦 氏 (本部)	佐藤 憲昭 氏 (秋田)
ミーティング内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに同じ基準で1試合通して判定することができた。 ・F管理や残り時間が少ないときにおいて、タイマーの管理をもっと細かく確認していく必要があった。 			
総合所感			
<p>今回、初めて全国ミニバスケットボール大会派遣の機会を頂き、都の予選では味わえない独特な雰囲気の中、緊張感をもってレフリーに臨むことができました。大会を通して、改めて2POの難しさを再認識することができ、初日の講義や映像研修を受けレフリーとしての基礎基本やレフリーとして大切なことを確認することができました。大会を通して学んだことや講義、研修で学んだことを糧に、自身のレフリー技術の向上につなげていこう努めてまいります。</p>			

最後になりましたが、今回の派遣にあたりお世話になりました大会本部の皆様、ご指導いただきました講師の皆様、他の都道府県審判員の皆様、東京都、所属連盟の皆様方に心より感謝いたします。